

### 環境調査結果のお知らせ

今年2月12日午前9時から浦ノ内湾の環境調査を実施しましたので、結果をお知らせします。

#### 概況

湾内の環境は、水温14～15℃、塩分33～34、溶存酸素量6～8mg/lでした。  
透明度は5～7mで、有害種のデイクチオカ属が確認されました。

#### 水温と塩分(表1・2)

湾内の環境は、水温13.8～15.4℃、塩分32.7～33.8でした。  
前回調査時(R2.1.6)と比較して、水温は表層から10m層で0.2～0.9℃下降し、底層で0.1℃上昇しました。塩分は全層で0.3～0.8下降しました。

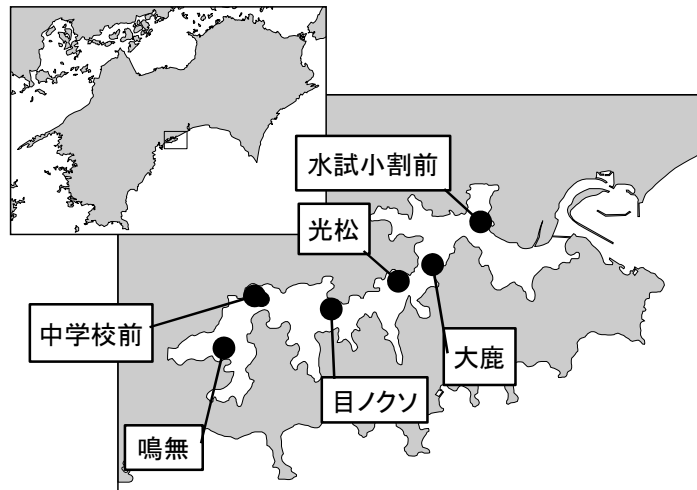
#### 溶存酸素量(表3)

溶存酸素量6.0～7.6mg/lでした。  
前回調査時(R2.1.6)と比較して、全層で0.4～0.9mg/l増加しました。

#### 透明度・プランクトン(表4・5)

透明度は5.2～7.3mでした。  
検鏡の結果、有害種のデイクチオカ属が最高で300cells/ml確認されました。

海や養殖魚、貝類の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。



#### 漁業被害が想定される細胞密度

- ・カレニア・ミキモトイ: 数百～数千cells/ml(魚類等のへい死)
- ・シャットネラ属: 10～100cells/ml(魚類へい死)
- ・デイクチオカ属: 1000cells/ml～(魚類のへい死)

環境調査結果表(水温・塩分・プランクトン等)

表1 水温(°C)

調査地点	中学校前	目ノクソ	光松	大鹿	水試小割前	漁場平均 ※	前回調査(1/6)	
							漁場平均	前回との差 今回-前回
0m	13.8	14.0	14.0	14.0	15.0	14.0	14.9	▲ 0.9
2m	13.9	13.9	14.0	14.1	15.0	14.0	14.9	▲ 0.9
5m	14.4	14.0	14.0	14.4	15.1	14.1	14.8	▲ 0.7
10m	14.7	14.5	14.7	14.7	-	14.6	14.8	▲ 0.2
B-1m	14.8	14.9	15.0	15.0	15.4	15.0	14.9	0.1

表2 塩分

調査地点	中学校前	目ノクソ	光松	大鹿	水試小割前	漁場平均 ※	前回調査(1/6)	
							漁場平均	前回との差 今回-前回
0m	32.7	32.7	32.8	32.9	33.5	32.8	33.5	▲ 0.7
2m	32.7	32.7	32.9	32.9	33.5	32.8	33.6	▲ 0.8
5m	33.0	32.8	32.9	33.1	33.6	32.9	33.6	▲ 0.7
10m	33.2	33.1	33.2	33.3	-	33.2	33.7	▲ 0.5
B-1m	33.3	33.4	33.5	33.5	33.8	33.5	33.8	▲ 0.3

表3 溶存酸素量(mg/l)

調査地点	中学校前	目ノクソ	光松	大鹿	水試小割前	漁場平均 ※	前回調査(1/6)	
							漁場平均	前回との差 今回-前回
0m	7.2	7.4	7.5	7.6	7.3	7.5	6.6	0.9
2m	7.2	7.5	7.3	7.5	7.3	7.4	6.6	0.8
5m	6.7	7.4	7.3	7.4	7.3	7.4	6.6	0.8
10m	6.0	7.1	7.1	7.4	-	7.2	6.6	0.6
B-1m	6.4	6.9	7.0	7.3	7.2	7.1	6.7	0.4

※ 目ノクソ・光松・大鹿の平均値

表4 水深・透明度(m)

調査地点	中学校前	目ノクソ	光松	大鹿	水試小割前
水深	13.5	16.1	18.1	17.8	10.2
透明度	6.2	7.3	7.2	6.7	5.2
前回(1/6)	8.1	8.2	7.8	8.3	10.1

表5 プランクトン(cells/ml)

		カレニア・ ミキモトイ	シャットネラ属	ディクチオカ属	珪藻類
中学校前	0m	0	0	0	14
	2m	0	0	0	0
	5m	0	0	0	0
	10m	0	0	160	5
	12m	0	0	45	10
目ノクソ	0m	0	0	1	25
	2m	0	0	0	4
	5m	0	0	2	5
光松	0m	0	0	0	25
	2m	0	0	0	30
	5m	0	0	0	5
	10m	0	0	7	5
	17m	0	0	0	0
大鹿	0m	0	0	0	0
	2m	0	0	0	0
	5m	0	0	6	0
水試小割前	0m	0	0	0	5
	2m	0	0	0	0
	5m	0	0	0	2
鳴無	5m	0	0	0	5
	8m	0	0	300	70